

令和4年度 第1回 鳥取市生活交通会議
議 事 要 旨

1. 日 時 令和4年6月28日(火) 15:00~16:30

2. 場 所 鳥取市役所6階 6-3会議室

3. 出席者 (下記のとおり)

○会 長	[学識経験者]	鳥取大学大学院工学研究科社会基盤工学専攻教授	谷 本 圭 志
○副会長	[鳥取市]	都市整備部長	岡 和 弘
○委 員	[住民・利用者]	市小学校PTA連合会	藤 田 良 二
		市自治会連合会 (旧鳥取市, 国府町, 福部町)	西 原 牧 夫
		〃 (河原町, 用瀬町, 佐治町)	西 川 功 美
		〃 (気高町, 鹿野町, 青谷町)	地 原 伸
		市老人クラブ連合会 (旧鳥取市, 国府町, 福部町)	能 見 恵 子
		〃 (河原町, 用瀬町, 佐治町)	西 尾 寛 茂
		市連合婦人会	外 山 照 野
	[NPO法人]	【代理出席】社会福祉法人鳥取市社会福祉協議会	吉 村 雅 子
	[事業者]	日ノ丸自動車株式会社 営業部次長	山 根 真 一
		日本交通株式会社 バス営業部次長	山 本 高 広
		西日本旅客鉄道株式会社 鳥取鉄道部運輸科長	谷 口 雅 則
	[事業者団体]	鳥取県ハイヤータクシー協会 副会長	岡 周 一
	[鳥取市]	福祉部長	竹 間 恭 子
	[中国運輸局]	鳥取運輸支局 首席運輸企画専門官	柏 木 実
	[警察]	鳥取警察署 交通第一課長	松 村 暢 英
	[鳥取県]	地域づくり推進部中山間・地域交通局地域交通政策課長	野 坂 明 正
○事務局		鳥取市都市整備部交通政策課 (小森、筒井、有本 泉、有本淳哉、坂本)	
		【欠席】2名	

4. 次 第

- 1) 開会
- 2) 会長、副会長選出
- 3) 会長挨拶
- 4) 議事

【案件1】令和5年度鳥取市地域内フィーダー系統確保維持計画について

【案件2】定額制乗合タクシーの実証実験について

【案件3】生活交通の評価・見直しについて

- 5) 報告事項

- ①大和ふれあいタクシーアンケート結果について
- ②鳥取市生活交通創生ビジョンに関する取組状況について
- ③JR西日本「赤字ローカル線」問題への対応について
- ④令和3年度鳥取砂丘における自動運転実証実験について

- 6) その他

- 7) 閉 会

5. 議 事 概 要

【案件1】令和5年度鳥取市地域内フィーダー系統確保計画について

国庫補助を受けている米里線・雨滝上地線について、引き続き補助を受けるため、フィーダー計画（事務局案）を提示し、内容について協議。

→事務局が資料1に基づき説明し、合意された。

（質問・意見）

特になし。

【案件2】定額制乗合タクシーの実証実験について

気高町・鹿野町内で行う月額定額制乗合タクシーの実証実験（道路運送法第4条に基づく一般乗合旅客自動車運送事業（区域運行））を行うため、運行計画について提示し、内容について協議。

→有限会社サービスタクシー及び株式会社バイタルリードが資料2に基づき説明し、合意された。

（質問・意見）

【委員】 対象者はどのような方を見込まれているのか。

【サービスタクシー】 9時から16時の運行で、通学の時間帯を避けて設定した。ドアツードアの運行なので、これまで、バス停までの移動が困難であった方とか、普段バスの利用がなかった方の新たな需要の掘り起こしができるのではないかと考えている。

【バイタルリード】 バス停まで距離があり、普段はバスを利用しない方が定額制タクシーを利用し、中心部まで移動しバスやJRを利用するなど、相乗的に定額制タクシーの利用も増えて、さらに、路線バスやJRの利用も増えてというようなところも、ねらえればいいと考えている。

【委員】 どのくらいの利用者数を想定されているか。

【バイタルリード】 事前アンケートを踏まえ、100名くらいの利用者を想定している。

【委員】 実証実験中に利用された方で、路線バス利用者かどうかなどのアンケートもデータとして取得していただければ事業者としても今後の参考となると思う。

【会長】 まずはデータが必要となる。今までの移動目的は、買物とか病院とかであったのが、温泉とか少し娯楽的な需要に関しても対応可能なところでどういう方の利用が見込まれるか、また、バスやJRにもどのような影響があるのかを調べて報告してほしい。

【委員】 今回、実証していただく地域は、バス停まで距離があり、冬季は降雪が見込まれるため、バス利用が高齢者等には困難な地域である。今回のようなドアツードアの運行が日常的に行っていただければ、非常に助かる。また、今回、実証される地域以外の地域も料金が高くなっても利用したいとの声も聞ける。温泉街、飲食店もあるため、週末とかは夜間運行もあれば利用者が増えるのではないかと。

【バイタルリード】 今回、実証事業を実施した経緯は、気高、鹿野地域で以前、運行を行っていたタクシー事業者が撤退され、ドアツードアの移動手段も必要であるとのアンケート調査での結果を踏まえて実施する。住民の方の移動の利便性を上げるということも重要だが、この事業がちゃんと事業性が確保出来るものであるかということも重要となる。

今回、なるべく少ない交通の資源を使って効率的に運んで行き、さらに事業性を確保するところをポイントにしている。

【会長】 乗っていただけることのみならず、ドライバー不足のなかで、どれだけ効率的にまわしていけるかというのが非常に重要。そういったこともぜひ確かめていただきたい。

【案件3】生活交通の評価・見直しについて

鳥取市有償バス及び乗合タクシーについて、令和3年度の実績における評価及び今後の対応策について報告。

→事務局が資料3に基づき報告した。

(質問・意見)

特になし

5) 報告事項

①大和ふれあいタクシーアンケート結果について

→事務局、大和地区まちづくり協議会が資料4に基づき報告した。

(質問・意見)

【会長】 通院や買い物で、バス、タクシーと競合するのかが一番の論点だったので、見ていただくと、ある程度傾向が分かっていただけだと思う。今後、本当に競合しているかどうか、競合していないのに何もしないというのは、本来、掘り起こせる事情があるのに放置するのではなく、実験か何かして、きちんと客観的にどうなのかと評価をしながら選択していくのがよい。これをどう受け止めてどういうアクションに繋げるか、関係する方々とお話ししていただき、この場で議論させていただくことになるかと思う。

【事務局】 事務局の方で、関係するバス事業者とタクシー事業者、大和地区の運行事業者の関係者とで意見交換をしていただく場を設けようかと思う。その結果を踏まえて、会議でご報告なり、審議をしていただくような流れでお願いしたいと思う。

②鳥取市生活交通創生ビジョンに関する取組状況について

→事務局が資料5に基づき報告した。

(質問・意見)

特になし

③J R西日本「赤字ローカル線」問題への対応について

→事務局が資料6に基づき報告した。

(質問・意見)

特になし

④令和3年度鳥取砂丘における自動運転実証実験について

→事務局が資料7に基づき報告した。

(質問・意見)

特になし

(その他)

特になし